

(5) これまでの取り組み①

「なぜ日本温州總商會なのか…」

日本温州總商會では、これまで在日中国人を対象とした“日本の不動産購入支援”を実施してきました。

セミナー

第一回「最新プロに学ぶ日本不動産購入方法相談会」

- ◆開催日時:2010年4月
- ◆会場:新宿サンスカイルーム
- ◆来場者数:120名



セミナー

第二回「in大阪プロに学ぶ日本不動産購入方法相談会」

- ◆開催日時:2010年6月
- ◆会場:ヒルトン大阪「金閣」
- ◆来場者数:50名



セミナー

第三回「in東京プロに学ぶ日本不動産購入方法相談会」

- ◆開催日時:2010年8月
- ◆会場:東京神田グリーンホール
- ◆来場者数:55名



住宅フェア

第一回「在日中国人向け住宅フェア」

- ◆開催日時:2011年3月
- ◆会場:東京都立産業貿易センター台東館
- ◆来場者数:365名(予約者380名)
- ◆男女比:男性55%・女性45%
- ◆年収レベル:年収700万円以上の方が約40%
- ◆会話レベル:日常会話に問題のない方が約95%
- ◆協賛企業:3社



会場はほぼ満席状態



講師によるセミナーは熱心に傍聴



協賛企業様の個別相談ブースには相談希望者の行列ができるほど

参加者は20~30代が約6割と若い方が多く、
セミナーなどを熱心に聞かれる様子が目立ちました。

すべて日本の不動産企業との協賛というかたちで、「セミナー3回」「住宅フェア1回」を開催し、一定の成果を上げ経験を積んできました。

これらは、日本で不動産を購入したいという中国人へのサポートという意図だけでは実現できません。
日本の住まいの良さを中国人にも知ってもらい、かつ、日本の不動産企業にも業績を伸ばしてもらいたい。

つまりは、日本の不動産市場の活性化に寄与したい、という確かな理念があったからこそ、

協賛企業にもご理解いただき、実現できたことだと考えています。

(5) これまでの取り組み②

「第一回住宅フェアが週刊住宅、住宅新報に取り上げられました」

▼「週刊住宅」2011.3.21

中国人投資家
フェアに360人
参加
日本温州
日本温州總商會（東京
都台東区、林立代表）は
5日、東京都立産業貿易
センターで在日中国人向
けの不動産フェアを開い
た。

過去3回開いた50人程
度のセミナーから規模を
拡大した今回は365人
が参加した。午前中から
193人が参加するなど
日本不動産に対する関心



の高さがうかがえた。
参加者の6割が20〜30
代で、若年層の間で投資
意欲が強い。年収700
万円以上の参加者が全体
の4割を占め、1000
万円以上も1割強いた。
協賛企業は3社だった
こともあり個別相談時に
は長い行列ができた。
「平均50件以上のアンケ
ートに加え、後日の物件

見学アポも多数取得でき
た」（主催者）。
今回の成果を踏まえて
7月9日にも同規模のフ
ェアを予定している。問
い合わせは企画会社の新
生・エージェンシー（電
話03・3590・708
1）まで。

▼「住宅新報」2011.3.22



多数の在日中国人が参加した住宅フェア。6割以上が20〜30代の層だった

日本温州總商會は、日本
に滞在する「温州商人」の
交流組織。00年に設立され
た。セミナーの企画会社で
ある新生・エージェンシー
（東京都豊島区）によると、
中国国内では「温州商人」
商才に秀でた人」という位
置付けだという。「その組
織が主催するフェア（セミ
ナー）なので、参加者も安
心感を持ってきているよ
うだ」（新生・エージェン
シー）としている。

在日中国人

物件購入に高い意欲

住宅フェアに365人参加

日本温州總商會（東京都
台東区）は3月5日、東京
都内で在日中国人を対象と
した「住宅フェア」を開催
した。午前の部・午後の部
を合わせて365人が参加
した。
同フェアには、マンショ
ン・ダイベロップ3社の協
賛があった。どちらの部と
も、専門家によるセミナー
終了後には各協賛企業の個
別ブースで、多くの参加者
らが相談会に参加してい
た。

在日中国人の不動産取得
意欲は、年々高まっている
という。同会は、10年4月、
6月、8月の3回、同様の
テーマで50人規模のセミナ
ーを実施したが、いずれも
好評だったことから今回の
大規模フェアの開催となっ
た。
今回は実需用マンション
の紹介が中心だったが、
「戸建て物件やリゾート、
投資マンション・アパート
など、その他の住宅の紹介
はないのか」という声が多
く、7月9日に予定し
ている次回の住宅フェアに
は、様々なジャンルの会社
を協賛企業として募集する
考えだ。

なお、今回の参加者の属
性は、20代が23%、30代が
38%、40代が23%、50代が
14%。男女比は55%と45%。
年収700万円以上は約4
割で、そのうち1割強は年
収1000万円以上だっ
た。

(5) これまでの取り組み③

「震災復興支援へも、いち早く取り組んでいます」

中国・温州市と宮城県石巻市は「友好都市」です。

今回、被災地となった石巻市へは、

温州市政府から石巻市へ、200万元(約2,600万円) 寄付

これにともない、

日本温州總商會から石巻市へ、20万元(約260万円) 寄付

日本温州總商會から日本財団へ、100万円寄付

させていただきました。

寄付金というかたちではありますが、被災されたすべての方々の一日も早い復興を願い、被災地を代表して「友好都市」である石巻市への支援などに取り組んでまいりました。